

名備運輸「サムライスーツ」の 秋冬オーダー受注会を開催



村井氏（中央）、丸川社長（右）

愛知県小牧市の名備運輸（丸川靖彦社長）は、7・8日の2日間にわたり、関連会社が販売代理店を務める「サムライスーツ」のオーダー受注会を開催した。

同社では、春夏・秋冬シーズンの年2回、定期的に受注会を開いている。当日は事務所の一室を借用して、スーツ生地のほか靴やベルト、バッグ、アクセサリなどを展示し、サムライスーツジャパン（東京都）代表の村井和敏氏が

採寸にあたった。父も祖父もテーラーという村井氏が手掛けるのは、服とカラダをデザインするパーソナルオーダースーツ。ロロピアーナやゼニアといったイタリア製高級生地をメインに取り扱い、会話をしながら、その人だけの一着を創り上げる。「いいスーツを着ると内面が充実してくるし、周りの人の見る目も変わる。ファッションを楽しむんでほしい」と話す村井氏は、トータルで提案できるような革製品やシャツのオーダーも受けた。

「カッコいい経営者をつくりたい」。そんな思いでサムライスーツの価値を広めてきた丸川社長。「興味があればいつでも声をかけてほしい」と話している。（富田 香）

「カッコいい経営者をつくりたい」